

今治市九十九島におけるウチャマセンニュウの幼鳥の初確認

西尾喜量¹

¹ 日本野鳥の会愛媛



写真1 *Locustella pleskei* ウチャマセンニュウの幼鳥（右側面）

種の記録

Locustellidae センニュウ科

Locustella pleskei (Taczanowski, 1890)

ウチャマセンニュウ 幼鳥(写真1)

確認記録 観察年月日: 2026年7月20日. 観察場所: 愛媛県今治市宮窪町友浦 九十九島 (34.1475 233N, 133.0849337E). 1 個体. 観察者: 西尾喜量. 観察方法: 目視. 撮影方法: 望遠ズームレンズ(焦点距離 70–300mm) 装着の一眼カメラ.

種の特徴

本個体は頭部上面から背面, 翼上面にかけて灰色みのある暗褐色で, 顔には黄色みを帯びた明瞭な眉斑が認められた. 腮以下の下面は黄色みのある灰褐色で, 胸には暗褐色の縦斑が認められた. 嘴は長めで太く, 上嘴は黒褐色で, 下嘴は黄色みを帯びた淡褐色であった. 脚は長めで太くがっちりしており, 明るい肉色であった(写真1). 上記の特徴から個体はセンニュウ科のウチャマセンニュウあるいはシマセンニュウ *Locustella ochotensis* の幼鳥と考えられた. シマセンニュウは上面がオリーブ色みを帯びており, 赤みが強く見えること, 嘴と脚はやや短いことが本個体の特徴と合致しなかった. 加えて, シマセンニュウは本州以南では旅鳥, ウチャマセンニュウは伊豆諸島の一部, 本州, 四国, 九州等の沿岸部や島嶼で繁殖するとされていること(五百澤ほか, 2014; 真木ほか, 2014; 日本

野鳥の会愛媛, 2024), および今回個体が観察された場所の近くでウチャマセンニュウの成鳥オスが複数羽囀っていたことから, 本個体をウチャマセンニュウの幼鳥と同定した.

備考

観察個体は形態的特徴および観察時期から, 巣立ち後間もないと考えられた. 本種は県内では松山市の小安居島でのみ繁殖が確認されている(小川ほか, 2016). 今回の観察場所である九十九島では2022年の生息調査で複数ペアが確認されているが, 繁殖の有無は不明であった(西尾, 2023). 本記録は九十九島での繁殖を示すものであり, 同地は県内で2箇所目の繁殖地とみられる. 本個体は島の沿岸部で観察された. 発見時は岩礁に降りていたが, すぐに飛び立ち, 林縁部の照葉樹にとまってしばらく静止していた. 観察中, 餌乞い行動や親鳥からの給餌を受けるような様子は見られなかった.

引用文献

- 五百澤日丸・山形則男・吉野俊幸. 2014. 新訂日本の野鳥 550 山野の鳥. 文一総合出版, 東京. 416pp.
- 真木広造・大西敏一・五百澤日丸. 2014. 決定版日本の野鳥 650. 平凡社, 東京. 788pp.
- 日本野鳥の会愛媛. 2024. 愛媛県鳥類目録. 文彩堂出版, 東京. 132pp.
- 西尾喜量. 2023. 愛媛県今治市宮窪町九十九島におけるウチャマセンニュウ *Locustella pleskei* の観察記録. 愛媛県総合科学博物館研究報告, 28: 39–44.
- 小川次郎・渡辺奈央・松井宏光・大森浩二. 2016. 瀬戸内海忽那諸島およびその周辺島嶼部における絶滅危惧種ウチャマセンニュウ *Locustella pleskei* の生息状況. Strix, 32: 125–133.

(2026年8月11日受付, 2026年8月16日公開)

連絡先: 西尾喜量 (e-mail: pmdgd959@gmail.com)

(Yoshitomo Nishio. 2026. Record of a juvenile *Locustella pleskei* (Locustellidae) from Tsukumo Island, Imabari City, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26018)